

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.14 2008.10.25

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006



福まち通信

赤い羽根共同募金始まる



南地区民協の皆さん



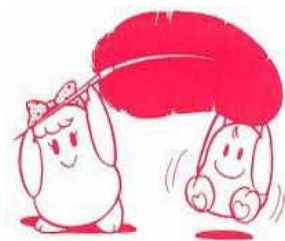
老人クラブやよい会の皆さん

10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金活動が始まりました。菊水地区ではマックスバリュウー菊水店とアークス菊水店の2店舗前、それに地下鉄菊水駅入口の3箇所に、菊水地区民生委員・児童委員の皆さんと老人クラブ「菊水南町やよい会」の皆さんたちが立って、道行く人々に募金をお願いしていました。また、これとは別に菊水地区の保護司会の皆さんが白石区募金活動の一環として、地下鉄白石駅に立たれています。

共同募金は、この「街頭募金」のほかに、「個別募金」「法人募金」「職域募金」が行われ、12月には「歳末助けあい募金」が行われます。



西地区民協の皆さん



共同募金は「鐘の鳴る丘」から始まった

♪ 緑の丘の赤い屋根
とんがり帽子の時計台
鐘が鳴ります キンコンカン
メエメエ 子山羊も鳴いています
風がそよそよ丘の上
黄色いお窓は おいらの家よ

こんなテーマソングがラジオから流れると、子どもたちは急いで家に帰ったものです。

連続放送劇「鐘の鳴る丘」が始まったのは、昭和22年7月5日のことで、放送終了の昭和25年まで、実に790回というロングラン番組でした。

ストーリーは、敗戦直後の昭和21年に外地から復員してきた主人公が、生き別れになった弟を捜して歩くうちに、悲惨な境遇にありながらも明るく生きようとする戦災孤児たちと知り合い、主人公は自分で少年たちの家を建てようと決心します。そして、さまざまな困難と闘いながら少年の家を完成し、弟にも再会するという物語です。

この当時、ラジオは最も影響の多いメディアであり、大衆娯楽として愛されていました。ですから、この放送劇が国民に与えた影響は計り知れないものでした。

でした。

自らも戦争で大きな痛手を受けている人々の間に、逆境から立ち直る勇気を与えましたし、戦災孤児や傷痍軍人などの障害者、子どもを失い施設で孤独に暮らしている老人たちに対する、国民的な共感を生んでいったのでした。

したがって、その年の10月から始まった「共同募金」運動は、このようなメディアの創りあげた国民的共感を土台として行われ、かつ発展していったといっても過言ではないのです。

このようにして始まった「共同募金」は、初年度なんと5億9千万円もの募金実績をあげました。現在の貨幣価値に換算すると1,500億円に達します。平成18年の募金実績は217億円でしたから、当時の約7分の1にしか達していません。これを人口割に換算しますと、平成18年は170円、昭和22年は2,500円ということになり、現在の募金実績は当時の約15分の1にしかならないのです。

人々の善意を数字で示すことは不可能ですが、それにしてもこの違いはどう説明すればいいのでしょうか。共同募金が始まったときの動機を思い出し、共同募金のあるべき姿について、また、他人の痛みを共感することについて、もう一度思いを巡らしてみようではありませんか。(枝)

福祉のお仲間訪問

先月号で、菊水地区で活躍している老人クラブをご紹介しましたが、取材の都合により、ご紹介漏れとなっていたクラブと、介護予防センター菊水が、市役所の委託で行っている上町地区の「すこやか倶楽部」の様子をご紹介します。

菊水南町やよい会

10月6日(月)、例会の会場であるやよい児童会館に皆さんはお集まりでした。最初に皆さんで市民憲章、交通安全の誓いを朗読され例会は始まりました。今日は10月に誕生を迎えられる三人の方に誕生日のお祝いが贈られ、やよい会の会歌を皆さんで斉唱されました。

その後、長谷川太一会長さんから共同募金に参加した婦人部の方々に慰労と感謝の言葉があり、白石区老連出席の報告がなされました。



やよい会の皆さん



女性部から会務の報告

会員は、現在51名で、遠く厚別から参加されている方もおられます。会費は年1,500円です。



和やかな話し合い

この会は、昭和46年12月に結成され、今年で37年目を迎えます。お仲間の支援訪問、交通安全街頭啓発、赤い羽根共同募金街頭募金などの社会的活動を行うほか、いつも使用しているやよい児童会館の児童との交流や、会館の草取り活動を行っています。

例会では、踊りやカラオケを楽しんでいます。新年会や敬老会、総会、年1回の温泉旅行は会員が楽しみにしている行事です。会長さんは「無理をせずに仲間同士仲良くして、皆さんにこの会を楽しんでもらうことをモットーに、会の運営に当たっています」と話されました。



右 会長の長谷川さん

上町すこやか倶楽部



介護予防センター菊水では、札幌市の委託を受けてすこやか倶楽部を開設しています。菊水地区では、西町集会所(5条2丁目)と上町会館(上町4条1丁目)の2箇所で行っています。



日頃、外出の機会の少ない高齢者の方々を対象に、介護予防を目的として月1回開催しています。

8月21日に開催された、上町会館でのすこやか倶楽部の開催状況について取材しました。

真新しくバリアフリー設計された会館の会議室に、午前10時、20名の利用者の方が集まりました。菅野さんの指導で「指体操」「歌体操」が始まります。体をほぐした後から、フーセン・サッカーが始まります。二組に分かれて団扇でフーセンを相手のゴールへ吹き送るゲームですが、なかなか勝負がつかずに、お互いに熱くなります。





お茶が入り、ゲームの興奮からさめた頃、テーブルが広げられ「言葉作りゲーム」が始まります。これは、アイウエオを書いたカードを使って、動物や花の名前を作ったり、台所にある品物の名を作ったりして、出来た数の多さを競うゲームです。皆さん負けないように夢中でカードを探していました。みなさんゲームになると少女のように(ちょっと言



い過ぎかな…)歓声を上げて頑張ります。

介護予防センター菊水では、この「すこやか倶楽部」のほかにも「転倒予防教室」や「認知症予防教室」などを開いています。町内会の回覧板などでお知らせしていますので、ぜひご利用ください。

お茶の間サロン・チャオ



第12号でお知らせしました、お茶の間サロン・チャオは、社会福祉協議会登録の高齢者対象サロンとして、10月15日正式に登録されました。

このお茶の間サロンでは、各種DVD観賞、通信カラオケによる童謡・唱歌の斉唱などを楽しんでいます。

高齢者の集いの場としては、老人クラブやすこやか倶楽部などがありますが、このお茶の間サロンは、より気楽に参加できる集いの場として生まれました。お互いが話の聞き役となり、支えあい、学びあうことのできるサロンになるよう続けていきたいものだとして代表の枝元さんは

話しています。現在満杯の状態、これ以上受け入れられません。興味のある方の見学は歓迎します。

毎月第2、第4木曜日 午後2時から4時まで開催しています。
現在男性4名、女性7名の登録 連絡先 枝元 ☎822-7998



子育てサロン 「ぷりんぷりん」

10月21日(火)上白石小学校で行われている子育てサロン「プリンプリン」を訪ねました。評判がよいため、これまでの年12回を今年からあと3回増やすことにした第2回目のサロンでした。

そうして、去年も行った高齢者との交流ということで、「菊水こまちの郷」の利用者6人が参加されていました。それに加えて上白石小学校1年1組(クラス担任)松浦先生のクラス生徒全員が賑やかに



に参加していました。

普段は、親子とボランティアだけで行っていますが、今回はおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に遊んでくれます。94歳のSさんは、子どもたちにお手玉をして見せていますし、ほ



冷たいベッド

枝元 政肇

60年前、

四畳半のちゃぶ台を挟んで
父は家族に言った…
募金に50円を入れてきたと

母は明日からの
暮らしのことで顔を曇らせた
子どもたちは
クリスマスの贈り物を想った

父は熱心に説得した
誰かが幸せになるのねと
母は納得した
不幸な友達のことを思い
子どもたちも同意した

その夜、並んで寝た家族は
温かい布団で幸せな夢を見た

いま

男は、家族が寝静まった
ダイニング・ルームで
テーブルの上の冷たい
夜食を無言で頬張った
そして、テレビキャスターの
胸の赤い羽根を見た

その時、男は突然に
父のことを思い出した

俺が今、1万円を募金したら
妻は「馬鹿じゃないの」
子どもたちは「別に…」
と、言うんだらうな

男は考えるのを止め
冷たいベッドにもぐりこんだ

(註)当時の50円は現在の1万2500円に相当する



かの人(男)は子どもの頭をなでたり抱っこしたりして遊んでくれています。「子どもたちと一緒に遊べて、本当に楽しい」と参加した高齢者の方は嬉しそうです。

白石区役所子育て支援係の道山さんは、手遊び、ボランティアのお母さんたちは人形劇で盛りたて、子どももお母さんも幸せな一日になりました。



一回だけ 共同募金の赤い羽根は、2年目(昭和23年)から使われています。それでは初年度はといいますと、金属製の小さなバッチで、表面に稲穂の図案が施されていたものを使いました。

お知らせ

今年第2回目のふれあい交流会が11月6日午前10時から菊水地区会館で行われます。

申し込まれた方は、当日お忘れなく時間までにお集まりください。

編集後記

14号は、共同募金と、その果実で行われています各種の催しについて特集しました。皆さんの善意が、このようなところで幸せを演出しているのです。これからも、どうかよろしくお願いします。(枝)

平成20年度第2回
高齢者のふれあい交流会へのお誘い

★日 期 ——平成20年11月6日(水)午前10時~午後2時
★場 所 ——菊水地区会館(菊水7番2丁目2-20)
★期 間 ——菊水地区にお住まいの65歳以上の方
★定 員 ——120名(要予約)
★申込方法 ——町内会長、または菊水まちづくりセンターへ
お電話でお申し込みください
★締め切り ——10月24日(金)

当日のプログラム

毎年好評の「高齢者のふれあい交流会」を開催します。高齢者同士の間近の交流と心身のリフレッシュを目的として、菊水地区のボランティアが、皆さんをお招きする行事です。お友達とお話し合わせの上参加のご参加をお待ちしています。

主催者のプログラム

- 1 介護予防コーナー 転倒予防についての講話
- 2 赤い羽根のふれあい(講話) 保護者さんたちによる転倒予防講座
- 3 生活相談・健康相談
- 4 楽しいいきいきコーナー 赤い羽根チェック
- 5 高齢者のコーナー 認知症、痴呆、痴呆、痴呆
- 6 写真コンテスト 応募作品展示

ランチタイム

- 1 ちやんげん、すまし汁、お漬物

主催者のプログラム

- 1 演劇コーナー ひとり歌ストロ (吉々木忠雄さん) 大舞台につき再演します どうぞご期待ください!!

主 催 菊水地区福祉のまち推進センター
協賛団体 菊水地区内各町会連合会、菊水地区内各町会連合会連合会、日本赤十字社
後援団体 菊水地区内各町会連合会、菊水地区内各町会連合会連合会、日本赤十字社
協力団体 菊水まちづくりセンター TEL: 821-6440 FAX: 821-3831